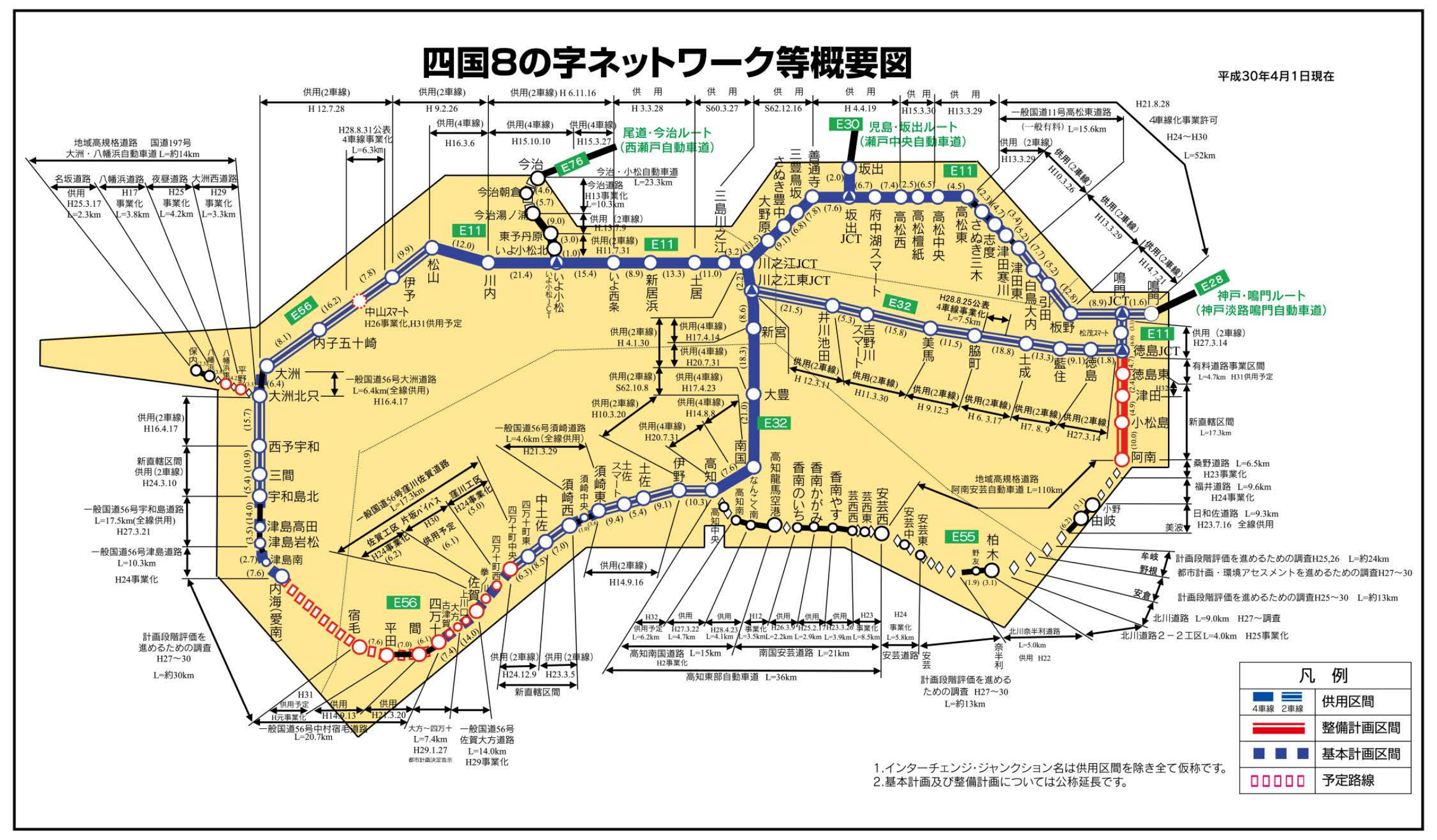
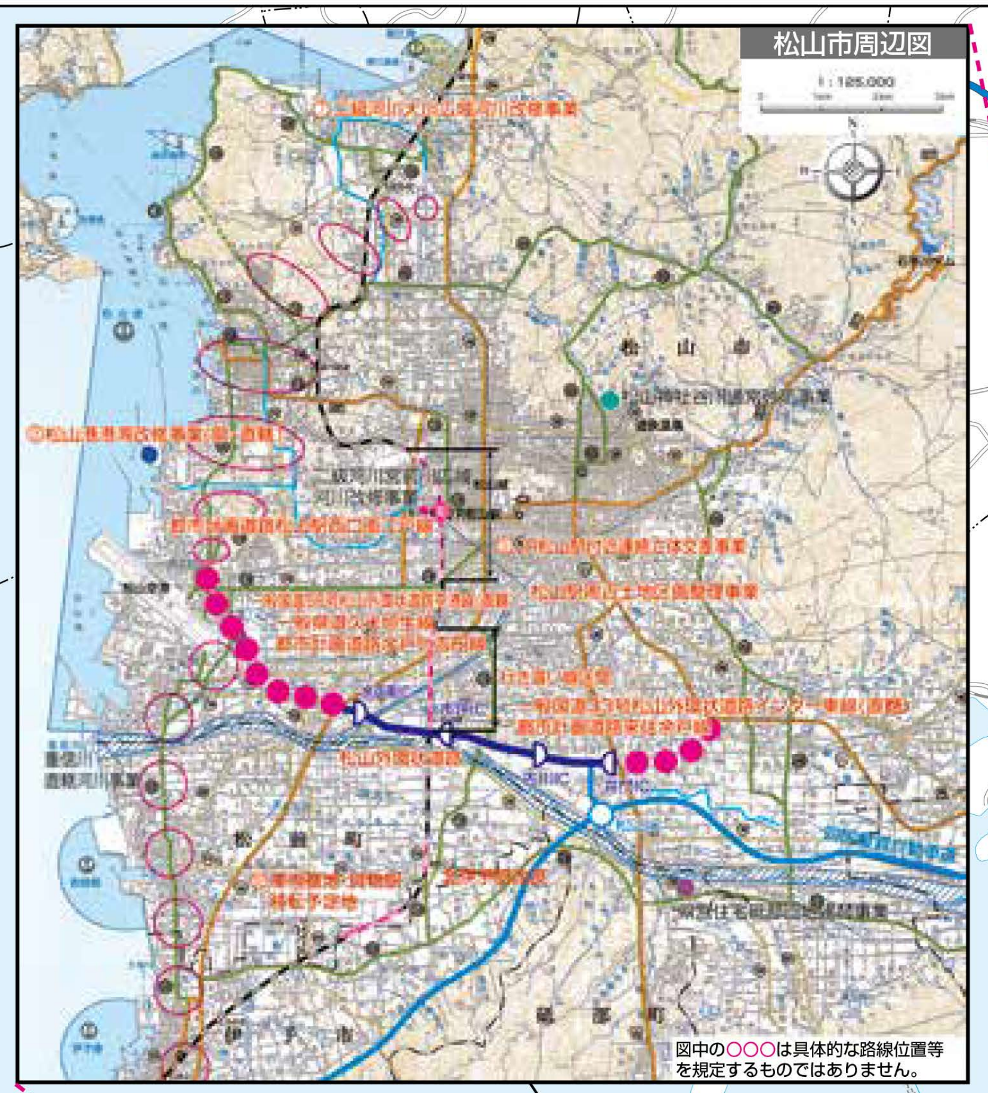
えひめの土木
2018
愛媛県土木部

愛媛県管内図


四国8の字ネットワーク等概要図
平成30年4月1日現在
尾道・今治ルート（西瀬戸自動車道）
児島・坂出ルート（瀬戸中央自動車道）
神戸・鳴門ルート（神戸淡路鳴門自動車道）
E11
E32
E55
E56
E76
E28
E30
松山
今治
川内
いよ小松
新居浜
川之江JCT
高松中央
徳島
高知
須崎西
大洲
宇和島北
津島高田
津島南
宿毛
凡例
供用区間
整備計画区間
基本計画区間
予定路線
1.インターチェンジ・ジャンクション名は供用区間を除き全て仮称です。
2.基本計画及び整備計画については公称延長です。


松山市周辺図
図中の○○○は具体的な路線位置等を規定するものではありません。

東予

❺一般県道岩城弓削線　上島架橋（岩城橋）

弓削島
生名島
佐島
至 弓削
岩城橋
至 岩城
岩城島
【完成予想図】

❶東予港　港湾改修事業（県・直轄）

泊地浚渫
複合一貫輸送ターミナル
耐震強化岸壁（-7.5m）

❻一般国道196号今治道路（直轄）

至今治湯ノ浦IC
今治朝倉IC（仮称）
至今治IC

写真提供：四国地方整備局

❷二級河川浅川広域河川改修事業

❸黒岩川総合流域防災事業

❹一般県道新居浜東港線バイパス

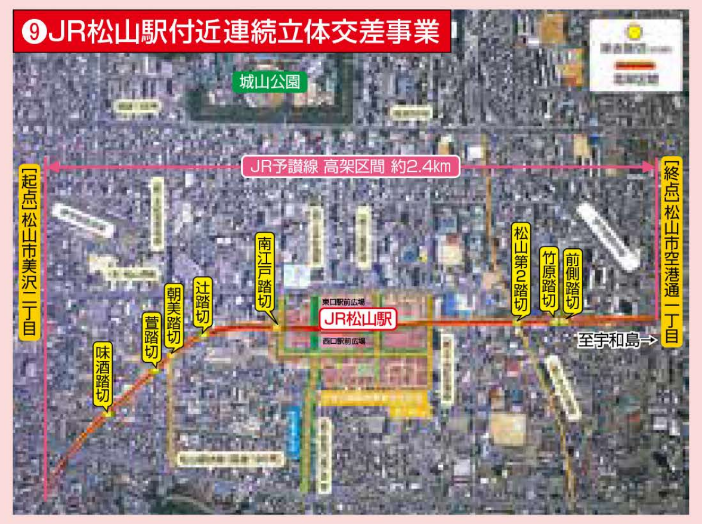
至 新居浜港
至 新居浜IC

中予

❼二級河川大川広域河川改修事業

❽松山港　港湾改修事業（県・直轄）

直轄
県
吉田浜防波堤
ガントリークレーン2号機
緑地
岸壁（−7.5m）130m×3バース
岸壁（−13m）310m×1バース
国際物流ターミナル
岸壁（−13m）190m×1バース



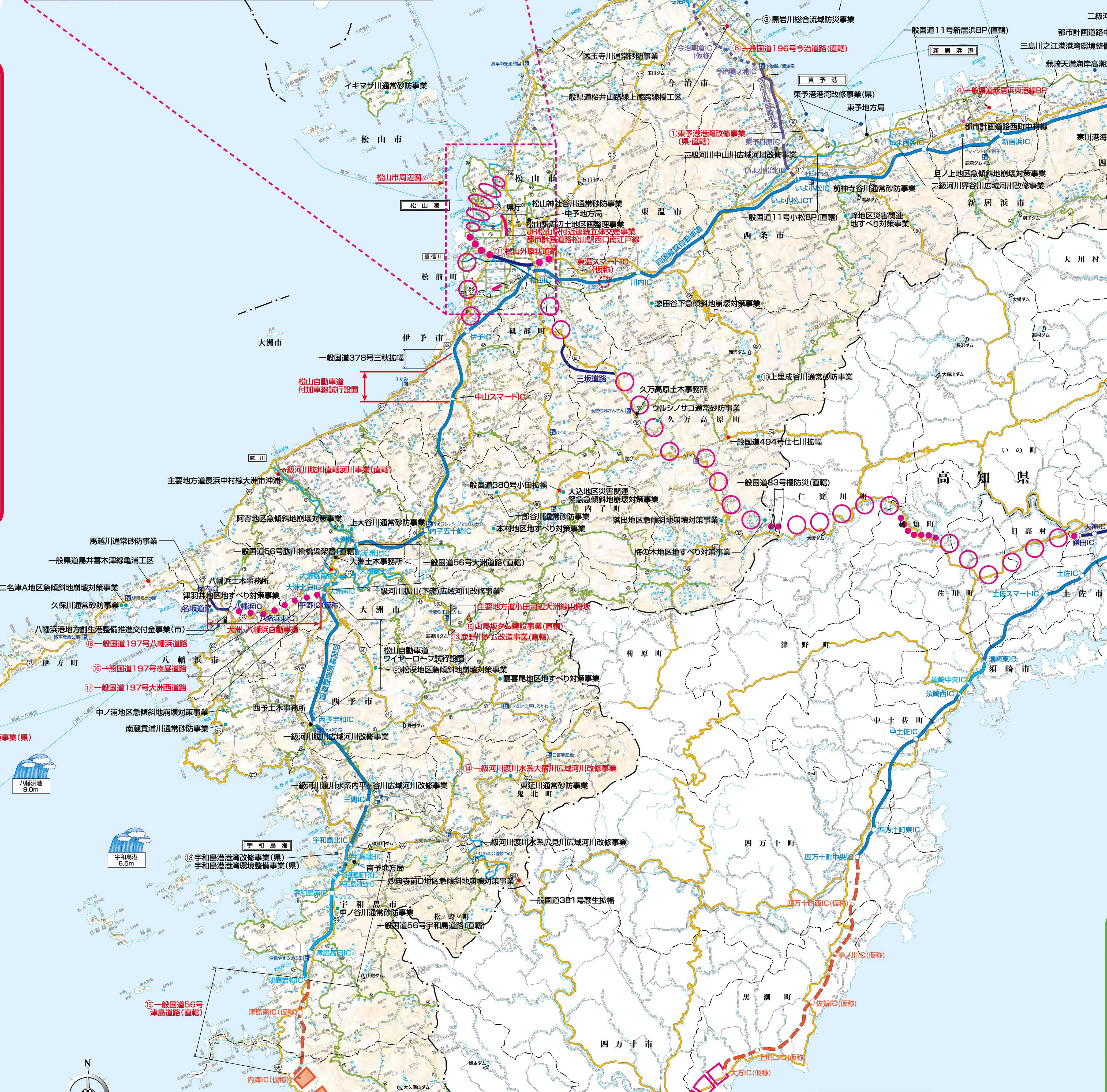
❾JR松山駅付近連続立体交差事業

城山公園
JR予讃線 高架区間 約2.4km
【起点】松山市美沢二丁目
【終点】松山市空港通一丁目
味酒踏切
萱町踏切
朝美踏切
辻踏切
南江戸踏切
JR松山駅
松山第2踏切
竹原踏切
前側踏切
至宇和島

❿上里成谷川通常砂防事業

⓫松山外環状道路（空港線）

⓬JR車両基地・貨物駅予定地


広島県
香川県
徳島県
高知県
松山市
今治市
新居浜市
西条市
四国中央市
東温市
伊予市
大洲市
八幡浜市
西予市
宇和島市
内子町
砥部町
松前町
久万高原町
伊方町
鬼北町
松野町
愛南町
上島町
三原市
竹原市
高知市
須崎市
四万十市
宿毛市
土佐清水市
今治土木事務所
東予土木事務所
中予地方局
八幡浜土木事務所
大洲土木事務所
西予土木事務所
宇和島土木事務所
愛南土木事務所
久万高原土木事務所
①東予港港湾改修事業（県・直轄）
②二級河川浅川広域河川改修事業
③黒岩川総合流域防災事業
④一般県道新居浜東港線バイパス
⑤一般県道岩城弓削線　上島架橋（岩城橋）
⑥一般国道196号今治道路（直轄）
⑯一般国道197号八幡浜道路
⑯一般国道197号夜昼道路
⑰一般国道197号大洲西道路
⑲一般国道56号津島道路（直轄）
㉑三崎港海岸高潮対策事業（県）
松山市周辺図
松山自動車道付加車線試行設置
中山スマートIC
八幡浜港 9.0m
宇和島港 6.5m
御荘港 9.0m
1:345,000

南予

⓰一般国道197号八幡浜道路・夜昼道路

至八幡浜
八幡浜道路
R197号
夜昼道路
R197号
至大洲
【完成予想図】

⓲宇和島港港湾改修事業

緑地
物揚場（−2.5m）450m
岸壁（−5.5m）100m×2バース

㉑三崎港海岸高潮対策事業

⓱一般国道197号大洲西道路

大洲西道路
至 宇和島
四国横断自動車道
R197号
大洲北只IC
大洲道路
至 松山
【四国横断自動車道・大洲西道路との接続部】

⓳一般国道56号 津島道路

写真提供:四国地方整備局

⓭鹿野川ダム改造事業（直轄）

クレストゲート改造
選択取水設備新設
トンネル洪水吐新設

⓮一級河川渡川水系大宿川広域河川改修事業

⓯山鳥坂ダム建設事業（直轄）

⑳松渓地区急傾斜地崩壊対策事業

凡　例

四国縦貫・横断自動車道	開通区間	━━━	一般国道	━━━
	事業中区間	■■■■■	主要地方道	━━━
	基本計画路線	□□□□□□	一般県道	═══
	予定路線	▣▣▣▣▣▣	重要港湾	港湾名
瀬戸内しまなみ海道	開通区間	━━━	ダム	既設　建設中
今治小松自動車道	開通区間	━━━	河川事業	～
	事業中区間	■■■■■	港湾・海岸事業	●
高速自動車国道に並行する一般国道自動車専用道路	開通区間	━━━	砂防事業	●
	事業中区間	━ ━ ━	道路事業	●
地域高規格道路	開通区間	━━━	都市計画事業	●
	事業中区間	●●●●●●●●●●	建築・住宅事業	●
	計画区間	○○○○○○		
上島架橋	開通区間	━━━		
	事業中区間	▪▪▪▪▪▪▪▪		
	計画区間	●●●●●●		

図中に記載した事業は、H30年度の主な土木事業。そのうち赤書きの事業は、H31年度国の施策等に関する提案項目に関する事業。図中の○○○□□□（計画・構想）のルートは具体的な路線位置等を規定するものではありません。

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1 地勢図を使用した。（承認番号　平28四使、第1号）」

地図調製：有限会社ディ・プラス